

第22号

平成23年2月1日 発行
(偶数月発行/年6回)



大阪定着促進センター出身者交流会と社会見学



12月9日(木)から一泊二日で中国四国地域在住の大阪定着センター出身者が社会見学を兼ねて、懐かしい大阪を訪りました。1日目は人と防災センターの見学をしました。阪神・淡路大震災の発生時の様子や人々がどのように立ちあがり励まし合って復興したかを、神戸在住の華僑のボランティアガイドからの分かりやすい説明がありました。その後、中華街を散策し、ルミナリエを見学しました。美しい光に神戸の人々の鎮魂の思いを感じながら、ゆっくり歩きました。2日目は、海遊館の見学をし、その後大阪センターの帰國者や先生との昼食交流会を開きました。固く握手し、再会を喜び合う姿や、何度も何度も乾杯し合う姿が、会場のあちこちで見られました。定着センターの同窓生とは近況報告をして、互いの労をねぎらい合い、当時日本語が不十分で上手に気持ちを伝えることができなかった先生にはやっと感謝を伝えることができました。今日の笑顔がまたこれから日本で生活の支えとなることでしょう。

しめ縄飾り講座

12月13日(月)センターでしめ飾り講座を行いました。日本では、お正月にしめ飾りを飾る習慣がありますが、中国ではそのような習慣はありません。当日はしめ飾りの由来やそれぞれの飾りの意味、飾る時期を学びながら、楽しく作りました。2011年参加者は、はじめての手作りしめ飾りで新しい年を迎えるました。今年もいい年になるといいですね。

岡山地域帰国者教室

12月17日(金)岡山県で交流会を行いました。午前中は八塔寺ふるさと村の見学をしました。そこは標高400mに位置する山村で、今では珍しいかやぶきの農家があり、のどかな風景が広がっています。参加者は「空気がきれいですね」と言いながら古い家屋をのぞいたり、お寺の鐘をついたりしながら散策しました。午後は焼きもので有名な備前市で陶芸の体験をしました。初めての陶芸でしたが、講師の指導のもと、すてきな作品を作ることができました。今回は、日頃交流会に参加できない備前市の帰國者も参加することができ、非常に喜んでいました。帰国者同士の交流が深まり、とても楽しい時間を過ごしました。

山口県岩国市歯科相談説明会



1月23日(日)山口県岩国市で歯科衛生相談説明会を行いました。歯科衛生士の指導のもと、食べたときの歯の汚れ具合や歯の磨き方について学びました。また飲料水の中にはたくさんの砂糖が使われていることを、パネルや図を使って説明していただきました。毎日、食べたら歯を磨く習慣をつけ、長く自分の歯で食べられるように歯を大切にしましょう。

【発行者】
中国・四国中国帰国者支援・交流センター

社会福祉法人 広島県社会福祉協議会
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

投稿

今回は、岡山県の高見素美恵さんが12月の陶芸交流会の感想を詩に、そして高知県の福沢俊傑さんが12月の大坂帰国者センター出身者交流会の感想作文にして投稿をくれました。

故郷

高見素美恵



日本に名を馳せる備前焼
長い歴史に感じる誇り
水、土、風、炎を凝集し
作り出された精巧品

茶碗を作る人、皿を作る人
さまざまな陶器が出来あがる
センター職員に感謝し
参加者全員が満面の笑顔

古跡の多い八塔寺村
山間に点在する茅葺屋根
三つの村の境目に
たたずむ三国郵便局

江戸から残る古民家に
展示品となった農耕具
古き良き伝統は語り継がれ
文化遺産は受け継がれる

700歳のコブノキが
観光客を呼び止める
年月かけて天まで伸びて
雲間に届くこずえかな



深い意味のある活動

福沢俊傑

初冬の風、寒さが肌をさしているように感じた。神戸の「人と防災センター」では、震災追体験フロアで、地震破壊力の凄まじさを迫力ある大型映像と音響で体感した。天災の威力が心を震撼させた。家も橋も、たやすく崩壊した。燃え盛る炎、もうもうと立つ煙が、當時の悲惨な状況を語っている。この恐ろしい震災によって破壊された都会で、悲しみと痛みを復興の原動力に変えた。人間は必ず大自然に打ち勝つことができる。廃墟の中から復興し、以前よりさらに美しい神戸になった。悲劇が教訓となり、新たな防災・減災意識が生まれた。

夜のとばりが下りた。人の流れが波のように押し寄せてくる。きらびやかで美しいルミナリエは夢幻の世界のように感じる。華やかな光のトンネルは別天地の感があった。

海遊館の水のトンネルをくぐると、美しく幻想的な青い海の世界が目の前に広がった。見たこともないような魚が泳ぎ回り、とても全ては見尽くせないほどだった。

大阪センターでは20数年ぶりの再会、先生方が温かく迎えてくれた。みんなの楽しげな笑い声が入る中、それぞれの再会を喜び合った。記念撮影を杯を挙げ、交流を深めた。お互いに歌隊が登場したとき、交流会は最高潮に達した。貴重な再会を果たし、そしてまた別れを告げ、またいつか逢えればとお互いに祈りながら、それぞれの場所に戻った。このような有意義な活動を開催してくれた、中四国センターに深く深く感謝する。

2月・3月の予定

2月1日 廿日市異文化交流会〔広島県廿日市市〕
2月19日 高知県地域帰国者教室〔高知県〕
2月21日 福山市地域帰国者教室〔広島県福山市〕

3月14日 学習発表会〔広島県〕
3月23日 健康増進交流会〔広島県〕

投稿募集

みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありますなど何でもかまいません。あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか? 原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。

みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

2月3日は中国の春節です。この時期になると、中国では街中に、赤い提燈を掲げたり、中国結びをぶら下げたり、彩り鮮やかな絹の布も飾り付けます。春節は中国の一大イベントです。

中国で春節気分を味わいたいな~と思っています。皆さんは、今年の春節はどうのように過ごしましたか?

(金山)



平成 23 年 2 月 1 日 発行
(双月発行／年 6 回)

【発行者】
中国・四国中国归国者支援・交流中心
社会福祉法人 广島县社会福祉協議会
〒732-0816 广島市南区比治山本町 12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

大阪定着促进中心结业者交流会及社会观摩



从 12 月 9 日(周四)开始了一宿两天的重返旧地交流会兼社会观摩。参加者为现居住中四国地区的大阪定着促进中心结业者。第一天和大家参观了人与防灾中心。由定居在神户的华侨志愿者为大家详细讲解了阪神·淡路大地震的情形,以及人们是如何从灾后互勉重振起来的。之后,观光了中华街,浏览了神户灯饰。其间,慢慢步行在美焕美仑的灯光下,令人再次追思安魂之念。第二天,首先参观了海游馆,之后,来到大阪归国者中心,与那里的老师和旧友进行了午餐交流会。席间,每个人紧握着对方的双手,互诉衷肠。一次又一次的举杯以示再度重逢之情。与定着促进中心当年的同窗互相介绍彼此的近况,互相慰劳彼此的辛劳。当年由于日语不够流畅,未能表达对老师的感谢之意,借此机会终于可以表达了谢意。相信这一天的欢颜将会成为今后在日本生活的动力。



门饰讲座

12 月 13 日(周一)在中心举办了门饰讲座。在日本,每年的正月都有挂门饰的风俗习惯。由于中国没有挂门饰的习惯,所以借此机会来学习门饰的由来以及各种小装饰品的说法,还有挂门饰的适宜时机。当天,大家边学习,边轻松愉快的制做了门饰。对参加者而言,2011 年所用的新年门饰,是大家头一次手作的门饰。希望今年又是一个好年!



冈山地区归国者教室

12 月 17 日(周五)举办了冈山县归国者交流会。上午来到八塔寺故乡村。那里海拔 400m,村中至今建存现在已属罕见的茅草屋顶的农家。到处都是一片闲静的怀古风情。参加者中不少人都说「空气真清新!」,其间到访了旧时的古居,有的人还撞击了古寺大钟。下午在陶器工艺驰名的备前市,体验了制做陶器。虽然是初次体验,可是在老师的耐心指导下,每个人都做出了精美的作品。特别值得一提的是,平时比较不方便参加交流会的备前市的归国者还专程赶来与大家一聚,难得的见面,令人欢心不已。借着这次活动既加强了归国者间的交流,又和大家欢度了一段美好时光。



岩国市牙齿卫生保健说明会



1 月 23 日(日)在山口县岩国市举办了牙齿卫生保健咨询说明会。在齿科卫士的指导下,大家认识到了饮食后牙齿上会余留有不少残渣,并学习了正确的刷牙方法。此外,还借助图板让大家了解到饮料中还有大量的糖分。我们每个人都应该养成每天认真刷牙的习惯,保护好自己的牙齿才能吃的更香。

投稿

这一期的投稿,一份是冈山县归国者高见素美惠女士就 12 月的陶艺交流所赋之诗,另一份是高知县的归国者福泽俊杰先生在参加了 12 月大阪归国者中心交流会后所做感想。

故乡

高见素美惠

驰名日本备前烧,
古老陶艺引自豪。
水土风火凝一体,
造出陶艺真精巧。

你做茶碗他做盘,
多种样式真齐全。
感谢中心领导好,
大家脸上笑开颜。

八塔寺村古迹多,
草盖屋顶山间卧。
三村连合交界处,
三国邮局座山坡。

江户时代农家屋,
各种用具展现出。
古代文明传佳话,
文化遗产留千古。

疙瘩树龄七百年,
游客止步望奇观。
漫长岁月伸天际,
疑似树梢插云间。



一次深意的活动

福泽俊杰

初冬的风, 寒意料峭。

走进神户人与防灾中心, 大厅里放映的大地震映像, 音响逼真, 如身临其境, 震撼人心。大自然的威力, 摧枯拉朽, 房倒屋塌, 桥断地陷。熊熊燃烧的烈火, 遮天蔽日的浓烟, 现状凄惨至极。可怕的大地震摧毁了这座城市, 可化悲痛为力量, 人定胜天的神奇, 一座更美好的神户在废墟上崛起。沉痛的教训, 必将开创新的防灾、减灾意识的新境界。

夜幕降临, 人流如潮。梦幻虚境般的五彩缤纷的彩灯, 似楼牌华彩的长廊, 犹如天上人间的仙境。

海游馆的水下隧道, 展示了梦幻般的蓝色世界的美妙。珍奇鱼类遨游嬉戏, 美不胜收。

大阪中心的老师, 热情迎接阔别二十多年中心毕业的归国者。欢声笑语, 倾诉分别之情, 相互拍照, 留下这美好记忆。丰盛的午餐, 碰杯欢饮, 热情洋溢。中国的秧歌舞把热烈情绪推向了新的高潮。难得的相聚, 又一次的分手, 相互祝福, 有望夕阳再会。

深深感谢广岛中心组织这次深意的观光交流活动。



2月・3月预定

- 2月 1 日 廿日市异文化交流会 [广岛县廿日市市]
2月 19 日 高知县地区归国者教室 [高知县]
2月 21 日 福山市地区归国者教室 [广岛县福山市]

- 3月 14 日 学习发表会 [广岛县]
3月 23 日 促进健康交流会 [广岛县]

征集投稿

向大家征集稿件。内容不限, 可以是日常生活琐事, 也可以是追忆往昔, 或者是介绍专项所长。您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗? 原稿的字数限 400 字以内, 投稿方式可以是直接送到中心, 或者是邮寄、传真均可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

2 月 3 日在中国是春节的年初一。每到这个时期, 街上到处张灯结彩, 一片喜洋洋的气氛。因为, 春节是中国一年中最大的节庆。

真希望能回中国好好尝一尝年味儿。不知大家这个春节是怎么过的呢?(笑) (金山)